

日刊 人事通信

發行所 東京市京橋區北橋町一〇
日刊 人事通信社
振替東京 七六二二二三番
電話京橋 六一七二二六五六

紫リーフレット

聯盟員の大活動

社會への反響と 夥しい激勵讚辭

本社が一心同體の紫リーフレット聯盟があらゆる犠牲を擲つて不純なる野田争議に對し純真なる立場から堂々行動を開始したことは既に普く知らるゝ通りであるがこの行動に對し激勵讚辭を寄するもの甚だ多く、我々は聯盟の行動が社會一般の人々に對し如何なる反響を興へてあるかを察する爲めにここにその一信を抜いて掲載し併せて爭議關係者に對し反省を促す次第である

扱て去る二日附發行紫リーフレットを購讀し愉快に存じ候、近來不純なる労働争議に對し純正なる鐵槌を加へられ社會の勞資家を以て情あり義ある本眞の立場に覺醒せしむるを主義とせらるゝ貴聯盟の御行動は國家の爲め欣慶措く能はざる所に御座候、右に感激の餘り一書を呈し國民の一人として御禮申上げ併せて貴聯盟員諸子の健在と御奮闘を祈上候 早々

十一月四日
千葉市興川 神田 清 治
御 田 治
紫リーフレット聯盟本部 中

大和民勞會から 總同盟に勧告

不純な争議を立證して 好意的に手を切る

大和民勞會は藤代副總裁の代理として阿本、石田、湯本、堤の四幹部は去る三十一日午後總同盟本部に對し、野田争議に對し、不純な争議を立證して、好意的に手を切ることを勧告した。藤代副總裁は、野田争議に對し、不純な争議を立證して、好意的に手を切ることを勧告した。藤代副總裁は、野田争議に對し、不純な争議を立證して、好意的に手を切ることを勧告した。

雲集

哲甫莊同人の一大快舉

不純な争議が多いのに、激怒した哲甫莊同人はこれが撲滅を期する唯一の方法として全國的に純正無垢の職工を募集した、これに應じて集まつたものがげふまで、百六十八名の多きに達したが、そのうち封書を寄せて採用方を依頼して来たもの、一二を記す。左の如し、尙同人等はこれ等の応募者をあらためて野田争議製造株式會社に依頼し、採用方を依頼した。採用方を依頼したので、更に會社の必要とする八百名に達するまで各紙を利用して、引續き大々的廣告をなし募集するの事である。

拜啓益々御清榮之段奉賀候、陳者五日附國民新聞に依れば野田醬油會社で職工を募集するの由、直ちに書面を以て御願ひ申上候、私儀當地の醬油店にて約六年間働いて居り毎日大きい醬油會社で働きたいと念願致し居りたる者に有之別に履歴書は認め申さず候間何卒これにて是非御採用の御奉希候、御禮言